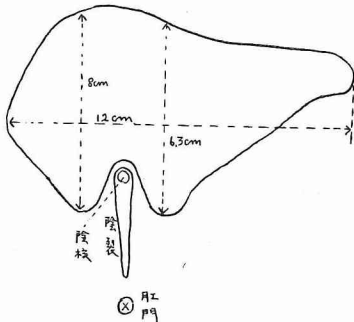


外陰部皮膚欠損部写真



外陰部皮膚欠損部の大き略図

いたというやゝ猟奇的殺人の一例についてその概要を報告した。

本論文の要旨は昭和32年9月6日、新潟市で開催された第18回関東法医学懇話会に於て発表した。

### A Rare Case of Murder at Nagano Prefecture

Iwao Wakatsuki, Hideo Nakamata  
Akira Ogihara, Fusae Kanebako

Dep. of Legal Med. Faculty of Med.  
Shinshu University

(Director: Prof. Dr. K. Noda)

The Section of Criminal Identification of  
Nagano Police Head Quat

A rare case of Murder was reported, which occurred in city of Okaya last spring. After one woman was killed by strangulation, the skin part of her mons pubis was cut off after her death with a razor. And so this case has been sensationally treated by journalists.

## 頸 椎 脱 臼 の 一 例

昭和32年12月25日 受付 (特別掲載)

信州大学医学部法医学教室 (主任: 野田教授)

若月岩雄 仲俣英夫 荻原 昭

長野県警察本部鑑識課

死体解剖上、頸椎脱臼による周囲の影響から死亡したと考えられる症例に遭遇したのでその概要を報告する。

昭和某年春、県下F町に変死人の届出があつたが、外表だけからは死因が明かでないので死因確定の為死体解剖を依頼されたものである。

#### 死体の状況

既に某病院の病理検査室に安置されていた。型の如く詳細に死体の外表を検したが、所々に多数の表皮剝離、皮下出血の認められる部があつたが、その部及其の周囲を検してみても、その個々については勿論、全部總括考按しても、之等は直接急死を招来するとは全く考えられない程度であつた。次で死体硬直を検した

所、全身諸関節には何れも強度の硬直が認められたにも不拘、頸部に於て不思議にも硬直感が全くなかつた。判りやすくいえば、解剖台上に於て頸部を両手でおさえて軽く上下してみると、殆ど抵抗を感じないで、更に軽く左右に振り、又は軽く廻転せしめても抵抗を感じなかつた。この死体硬直の異常感のみが特異的であつて、その他死斑等の死体現象には特に異常所見がみられなかつた。

次で内部諸臓器について検したが、何処にも直接急死を来たすべき病的変化を認めることが出来なかつた。

#### 頸部の所見 (写真1, 2参照)

頸部諸器管を一括摘出して検査した所、食道部の上



写真 I. 頸部器管周囲の高度の出血

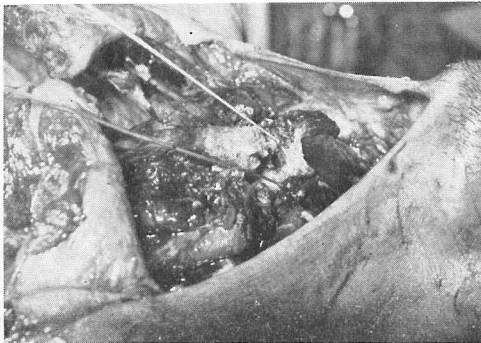


写真 II. 頸椎の模様

から4cm位の部から10cm程に亘つて12cm幅程の組織間の高度の出血が認められた。その他には例えば、舌骨の骨折、内出血等の異常所見は何等見られなかつた。

頸椎を検すると、第6頸椎骨、第7頸椎骨の間の椎間軟骨部に於て挫滅状に破壊せられていて、両頸椎骨が全く離開して独立に可動性となつていた。そしてその部と同高位で左右の椎骨動脈が、断端何れも不整形に切断されている。即ち、この両椎骨動脈断端から、前記の高度の組織間出血が由来した事が判つた。そこで更に周囲組織を注意しつゝ取除いて、該部を詳細にみると、硬脊髄膜には出血損傷等の何等の異常所見もなく、勿論脊髄にも異常所見はなかつた。併し出血死と考えられる程度の各臓器の血量減少は認められなかつた。

#### むすび

以上の諸点から考へて、本屍は、何等かの力によつて、第6、第7頸椎間に於て脱臼を來たし、この際兩椎間動脈が切断され、該部組織間に出血を來たすと共に、かゝる状態を起した事が刺戟となつて死亡したものと考へられる一例を写真を示して報告した。

### A Case of Cervical Column Luxation

Iwao Wakatsuki, Hideo Nakamata  
and Akira Ogihara

Dep. of Legal Med. Faculty of Med.

Shinshu University

(Director: Prof. Dr. K. Noda)

The Section of Criminal Identification of  
Nagano Police Head Quarter

A case of Cervical Column Luxation was reported, which Disi intervertebrales between C<sub>VI</sub> and C<sub>VII</sub> was contused traumatically.